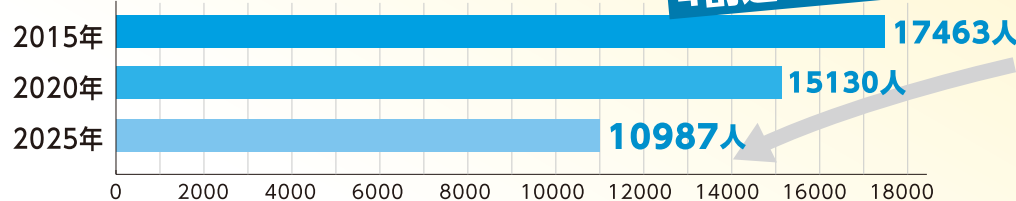


高市政権は石破前政権が示したコメ増産の方針を撤回、減産するとしました。歴代自民党政府は、コメ需要が毎年減ることを前提にしてこれまでも減産を強いてきましたが、「これで主食を守れるのか」不安と不満の声が高まっています。

コメの増産、食料自給率向上を農政の柱にし、家族農業を支え、価格保障・所得補償の実現へ農政の転換をおこなうべきです。

基幹的農業従事者数(京都)「農業センサス2025」 4割近くが減少



クマ被害を防ぐ対策を

クマの被害が深刻です。緊急銃猟の実施支援など緊急の対策を強めるとともに、中長期的には、針葉樹林の針葉・広葉混交林化や広葉樹への誘導など、クマの生息環境の保全策を強め、人とクマのすみ分けを図ることで被害を抑制することや、生物多様性の保全が求められます。



日本共産党府議会報告 持続可能な農業と 地域社会へ コメ増産、農家への支援強化を

高校再編・通学費補助

府教育委員会は少子化を理由に「府立高校の再編整備の考え方」を策定し、今後の高校統廃合を計画しています。一方、「2024年問題」による人手不足や利用者減で、鉄道・バスは路線廃止や減便が全国的に相次いでいます。府内でも減便・廃止で、地域によっては「始発に乗っても授業開始時刻に間に合わない」「仕事を抜け、子どもの送迎をしている」など、高校通学に大きな影響が生じています。これ以上の高校統廃合は、高校に通えない地域を生みかねません。高校存続や、重い通学費に対する補助の拡充こそ必要です。

原発再稼働中止を

知事は、原発を最大限活用するとした国と同じ立場を表明。昨年の能登半島地震では、原発事故が同時に発生すれば避難もできず、屋内退避も難しいことが証明されました。原発再稼働中止こそ決断すべきです。

近畿北部の原発と活断層



島田けい子(京都市右京区)

議員団長、危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



みつなが敦彦(京都市左京区)

議員団幹事長、農商工労働常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



浜田よしゆき(京都市北区)

議員団副団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



さこ祐仁(京都市上京区)

農商工労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



成宮まり子(京都市西京区)

文化生活・教育常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会



ばばこうへい(京都市伏見区)

政策環境建設常任委員会、子育て環境の充実に係る特別委員会



水谷修(宇治市・久御山町)

政策環境建設常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



森よしはる(京都市南区)

総務・警察常任委員会、子育て環境の充実に係る特別委員会



田中ふじこ(京都市中京区)

危機管理・健康福祉常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会